

泉州電業株式会社

2026年10月期 第2四半期 決算説明会 Q&A

[日時] 2026年6月5日(金) 10:30-11:30

[場所] 東京都中央区日本橋室町2-2-1 岡三証券(株)室町本店 14階会議室 G

Q1. 銅価格の仕入価格と販売価格のタイムラグは？

A1. 電材は銅価格をスライドして販売しております。電設はビッグプロジェクトで、長いものでは値決めをして18ヶ月後に販売するケースがあります。直需は使用される電線が銅のウェイトが低いものが多いので、銅価格の上昇を直に反映させるものではないです。全体としては銅の売上の約半分程度が売上に寄与していると考えております。今回は建設電販において工期の延長があったので、売上が伸びていないところがあります。基本的にはスポットで販売しているものは現在の銅価格で反映されております。

Q2. 商品別で数量どのくらいプラスに？

A2. 電力用ケーブルが若干マイナスで残りはプラスで推移しております。日本電線工業会が建設・電販部門で重量ベースの銅電線出荷量を出しており、ここもマイナスです。

Q3. 建設関係のマイナスである理由は工期の遅れなのか、建設需要なのか？

A3. 基本的には大型案件の谷間に入っているのが大きいです。それに加えて人手不足と資材高騰で工期が伸びております。

Q4. 業績好調の中で上方修正において下期に営業利益を据え置きにしている理由は？

A4. 売上は元々下期型で予算を組んでおります。今後は大型件名も徐々に出てくる予定です。利益に関しては中東情勢の影響も不透明であるため、慎重に見ております。しかし半導体製造装置・工作機械からの供給が悪くなければ、需要は伸びると考えております。

Q5. AI・データセンター向けの売上の需要感はどれくらい？

A5. データセンターはまだ始まったばかりであり、売上も大きくなっております。金額が大きめのものが建設段階で出ており、これが続いていけば当社にもメリットがあります。しかし当社はデータセンターの中の光関係においては大きな影響はなく、建設関係の銅電線が使われています。今後はデータセンター、首都圏の再開発、IRカジノ、大型半導体製造工場が絡まります。

Q6. 電線メーカーから値上げの理由は被覆部分の値段が上がっているから？

A6. その通りです。銅の変動はその都度値上げ、値下げをやります。今回はホルムズ海峡の影響でナフサ由来の製品が非常に上がり、大幅な値上げを6月の中盤以降行う予定です。これについては既にお客さんに説明しております。お客さんも値上げを受け入れざる負えない

状況です。というのも電力用ケーブルのブランドは4社しかなく、4社ともほぼ同じような値上げをしてきています。また昨今は色んな材料が値上げしており、比較的価格が受け入れられています。

Q7. 建設関係においてコストが上がっていく中で、比例して需要も上がっていく？

A7. まだまだプロジェクトはあります。特に東京は多いです。またデータセンター、再生可能エネルギーも入ってきます。大阪はIRカジノです。全体としては都市圏に集中してきています。建設業界で働いている人の減少で人手不足になり、また資材の高騰もあります。ここ数年で約3割～4割建設費が上がっています。これが上がり続けるかどうかは需要と供給の問題もあります。しかし全体的にはまだ上げていく可能性は高いです。

以上

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

将来の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることに留意下さい。本資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さい。

万が一この情報にもとづいて被ったいかなる損害について、弊社及び情報提供者は一切責任を負いません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

尚、情報は常に最新情報を反映しているものではないことをご承知おき下さい。